

---

# 決意 ギャグ短編

紅城 翔

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

決意 ギャグ短編

### 【Zコード】

N4148BA

### 【作者名】

紅城 翔

### 【あらすじ】

授業中にふと思いついたギャグ＆短編です。

(前書き)

ご無沙汰しています。連載小説について全く記憶がないのですが、それは置いといて・・・。

授業中にふと思いついた、かなりくだらないギャグ小説です。

夢を見た。

とてもリアルな夢だつた。そして、俺の受けた宿命を深くまで考えさせられるような夢だつた。

寮にいる俺はとても暇をもてあましていた。

そこで、俺は部屋を出て、友達の部屋に向かつた。暇つぶしにでもなればいい、そう思つたのだった。

『それでさ、なんかやだなあつて言われて、それが・・・』

「・・・だよなー」

部屋からもれる会話に耳を澄ますと、どうやら先客がいるようだ。今まで俺と仲の良かつたアイツが急に大人になつたように感じた。付き合つてゐか付き合つてないがだけでこんなにも違つなんて。ショックだつた。

それは、アイツが付き合つて始めると分かつた時のものとずいぶん似ていた。

俺は急に吐き気がして、トイレへと駆け込んだ。

同じ寮内で起つてこる出来事なのに、こんなにも違う、俺とアイツ。

俺はトイレで考えていた。

これは、運命なのか。

そこでふと田が覚めた。とつと近くにあつた携帯で時間を確認すると、3時半だつた。

今からアイツの部屋に行くと、夢が正夢に変わりそうで怖い。

俺は、再び田を開じた。

そして、宿命を受けてやうやく、と決心した。

それは、学級委員といつも宿命を、実行することだった。

THE END

(後書き)

ありがとうございました。  
他の作品も是非ご覧くださいませ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4148ba/>

---

決意 ギャグ短編

2012年1月10日23時50分発行